

埼玉県立不動岡高等学校

明日の世界を創造する品格あるリーダーの育成

【構想の概要】

埼玉県北部及び隣接地域の課題を3分野5項目に分類し、普通科・外国語科全生徒を対象とした探究、学習をFプラン（総合的な学習1年次）、異文化理解（外国語科専門科目）、SG課題研究Ⅰ・Ⅱ（総合的な学習の時間2・3年次）、スーパーグローバルクラブ（課外活動）で実施する。

「明日の世界を創造する品格あるリーダー」とは

①地域社会・国際社会で起こっている社会問題に対し、地球市民として当事者意識を持って解決に取り組むリーダー

- ・消滅可能都市と指摘されている埼玉県東部、加須市周辺地域において、今後起こるであろう問題を想定し、その解決に向けて取り組む。
- ・資源エネルギー庁では「2030年エネルギー政策のあり方」について広く国民からの提言を求めている。今の高校生が30代になる2030年という長期展望を踏まえ、国内外のエネルギーに関わる問題について学習をしながら、エネルギー政策の在り方について考える。
- ・地域社会で起こっている問題やグローバル社会が抱える問題に対して主体的に取り組む。

ドイツ研修、マレーシア研修、オーストラリア研修、異文化理解、エンパワメントプログラム、SG課題研究、SGグローバルスタディーズ、福島県エネルギーツアー、SGH甲子園、SGH全国高校生フォーラム、高校生国際ESDシンポジウム、SGH課題研究発表会(立教大学)、地産公民科、数学科、理科、外国語科、SS家庭、SS保健、SGH課題研究

②日本人のアイデンティティを大切にしながら多様な価値観を認めることができる国際的視野を身に付けたリーダー

- ・創立134年の歴史を活かし、卒業生などの人脈を活用し、国際舞台で活躍する先輩との交流を通じてグローバル社会で活躍するための意識を育む。
- ・海外との豊富な交流機会を活用し、多様な価値観に触れることで国際的な視野を獲得する。
- ・日本の歴史や日本人が大切にしてきた思想について深く学び、日本人のアイデンティティとは何かについてのしっかりとした考えを持つ。

ドイツ研修、マレーシア研修、オーストラリア研修、異文化理解、エンパワメントプログラム、Fプラン、SG課題研究、SGグローバルスタディーズ、台湾修学旅行、海外からの視察受入(フィリピン・マレーシア・インド・アメリカなど)、国語科、地産公民科、芸術科、外国語科

③個の多様性を尊重しながら国内、海外問わず臆することなく自分の意見を発信できるリーダー

- ・SGHの各関係機関主催のフォーラム等に参加し、プレゼンや情報交換の機会を積極的に捉える。
- ・国内研修、海外研修に積極的に参加し、プレゼンテーションや意見交換を積極的に行う。
- ・自分自身のことを深く知る。その長所や特性をどのように発揮すればチームに相乗効果を与えることができるかを学ぶ。
- ・実用的な情報リテラシーを身に付け、必要とするデータや情報を的確に収集し、それを効果的にまとめる力をつける。

ドイツ研修、マレーシア研修、オーストラリア研修、異文化理解、エンパワメントプログラム、Fプラン、SGグローバルスタディーズ、SGH甲子園、SGH全国高校生フォーラム、高校生国際ESDシンポジウム、SGH課題研究発表会(立教大学)、各種英語スピーチコンテスト、英語ディベート大会参加、数学科、理科、保健体育科、外国語科、SS情報、SGH課題研究

教育課程・授業単位数表 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	#
全員 共通履修 1年	1年	国語総合(5)		世界史A(2)	現社(2)	数学Ⅰ(4)		数学A(2)	物理基礎(2)	生物基礎(2)	体育(3)		SS保健(1)	芸術Ⅰ(2)	ECⅠ(3)		EEⅠ(2)		SS情報(2)	LHR	Fスタ													
文系進学	2年	現代文B(2)	古典B(4)	日本史B(3)	世界史Bor地理B(3)	数学Ⅱ(5)		数学B(2)	化学基礎or地学基礎(2)	体育(2)	SS保健(1)	ECⅡ(4)		EEⅡ(2)		SS家庭(2)	LHR	SG課題																
国公立	3年	現代文B(3)	古典B(3)	世界史Bor日本史Bor地理B(4)	地歴探究Ⅰor政経(3)	数学探究Ⅰ(4)		理科基礎探究①	理科基礎探究②	体育(3)	ECⅢ(4)		EEⅡ(2)		選択(2)	LHR	SG課題																	
私立	3年	現代文B(3)	古典B(3)	国語探究(2)	世界史Bor日本史Bor地理B(4)	地歴探究Ⅰ(3)	地歴探究Ⅱ(2)	体育(3)	芸術探究Ⅰ(2)	ECⅢ(4)		EEⅡ(2)		選択(4)	LHR	SG課題																		
ディスカッション、芸術探究Ⅲ、体育探究、家庭探究、英語探究、国語探究(国)、倫理(国)、数学探究Ⅳ(国)、政経(私)、芸術探究Ⅱ(私)(2)																																		
理系進学	2年	現代文(2)	古典B(3)	日本史B/地理B(3)	数学Ⅱ(5)		数学B(2)	化学基礎or地学基礎(2)	物理(2)or生物(2)	化学探究(2)or地学探究(2)	体育(2)	SS保健(1)	ECⅡ(4)		EEⅡ(2)		SS家庭(2)	LHR	SG課題															
	3年	現代文(2)	古典B(2)	地歴探究Ⅱor政経(2)	数学Ⅲ(7)or数学探究Ⅱ(5)+国語探究(2)/英語探究(2)/体育探究(2)/芸術探究Ⅱ(2)	物理(4)+数理総合(1)		生物(5)		化学(5)or地学(5)		体育(3)	ECⅢ(4)		EEⅡ(2)		LHR	SG課題																

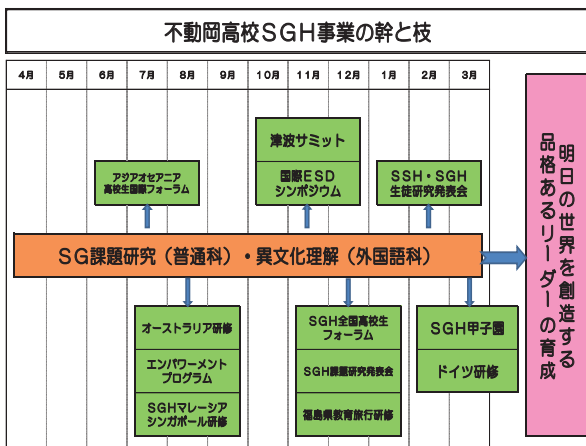
教育課程・授業単位数表 外国語科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	#
全員 共通履修 1年	1年	国語総合(5)		世界史B(2)	現社(2)	数学Ⅰ(3)		数学A(1)	生物基礎(2)	化学基礎(2)	体育(3)		SS保健(1)	芸術Ⅰ(2)	総合英語(5)		英語表現(2)		SS情報(2)	LHR	Fスタ													
文系進学	2年	現代文B(2)	古典B(4)	世界史B(2)	日本史Bor地理B(3)	数学A(1)	数学Ⅱ(3)		物理基礎or地学基礎(2)	体育(2)	SS保健(1)	総合英語(4)		英語表現(2)	異文化理解(2)	第2外国語(2)	SS家庭(2)	LHR	SG課題															
	3年	現代文B(3)	古典B(3)	世界史Bor日本史Bor地理B(4)	地歴探究Ⅰor政経(3)	2外or数学B	体育(3)		総合英語(4)		英語表現(4)		選択(4)-倫理(2)、数学探究(2)、英語探究(2)or国語探究(2)or理科基礎探究選択①(2)、理科基礎探究選択②(2)、体育探究Ⅰ(2)、芸術探究Ⅱ(2)、芸術探究Ⅲ(2)、家庭探究(2)、ディスカッション(2)		LHR	SG課題																		

Fプラン（1年次）とSG課題研究（2,3年次）

“Think globally, act locally”の精神を軸に、1年次は企業のミッションについて探究しながら、課題研究の基礎を学び、2年次には「居住する地域」の課題についてグループで探究し、解決策を提案する。そして3年次には2年次の地域課題研究の成果を論文にまとめていく。2,3年次の地域課題研究においては、①環境との共生、②他者との共生、③地方創生の3分野を設定。教材は「クエスト・エデュケーション」（教育と探求社）、「答えのない問題に、答える力が身につく本」（マイナビ）を使用する。評価については①本校が独自に作成したルーブリックを活用した自己評価と他者からの評価、②課題研究発表会のオーディエンスからの評価、③教員の観察によるグループワークにおける積極性、④教材内の個人ワークの取組、の4本を柱にしている。

130年を超える歴史の中で培われた地域とのつながりや卒業生の人脈を活用し、毎年80を超える外部機関や企業と連携をしている。また海外研修は課題研究のテーマを軸に参加者の選考を行う。

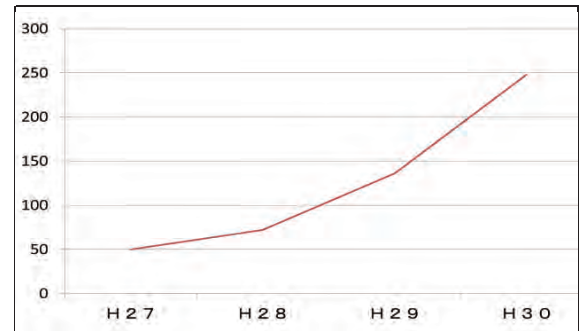


不動岡高校の国際交流

姉妹校協定をしているオーストラリアのクイーンズランド州・キングロイ高校をはじめ、SGH事業のマレーシア・シンガポール、ドイツ、SSH事業のアメリカ、日仏高等学校ネットワークによるフランス・ニューカレドニアに生徒を派遣している。海外研修希望者の急増に伴い、修学旅行の行き先を台湾とした他、夏期休業中にはアイビーリーグに通うアメリカの大学生を不動岡高校に招請し、不動岡生がホストファミリーとなり、課題研究に関連した

ワークショップを1週間行う国内留学プロジェクトを実施しており、毎年70名程度が参加している。

本校で実施している海外研修参加希望者の推移



新しい教育課程の完成に向けて

平成30年度に完成した本校独自のカリキュラムポリシーを教育課程に落とし込むために「新教育課程検討委員会」を立ち上げた。真に人の役に立つために人類がこれまでに何を考え、何を生み出したかについての圧倒的な知識を身につけ（不動岡のリベラルアーツ）、一見無関係に見える各教科間の繋がりを発見し、文理や教科の枠を超えた統合的な知識体系を創り出す力を各生徒が養い、社会に出たときに、人が気づかない様々な物事における関係性や繋がりに目を向け、新しい価値を生み出す素地を高校生の中に作り出せる教育課程の編成を目指している。そのような教育課程の完成こそが、本校SGH事業5年間の活動の集大成となるであろう。なお、この新教育課程は、令和元年度内には具体的な形に落とし込み、令和4年度からの実施を目指している。

